

# 右バックコートポジションにおける1対1の突破プレーに関する研究

## －右利きと左利きの特徴に着目して－

水田 亜莉沙 (201112004、ハンドボールコーチング論)

指導教員：山田 永子、會田 宏、藤本 元

キーワード：映像分析、学生レベル、他のポジションとの比較

### 【目的】

チーム事情において右利きプレイヤーが右バックポジションを担うチームは少なくはない。右利き右バックプレイヤーは、1対1で突破してゴールを奪うことやディフェンスにずれを生じさせることが重要である。そこで本研究では、右バックポジションにおける右利きと左利きプレイヤーの1対1の突破動作に着目し、それぞれの突破プレーにおける特徴と有効な突破方法を明らかにすることを目的とする。

### 【方法】

本研究では、平成26年度関東学生ハンドボール女子春季リーグの全40試合の右バックポジションにおける1対1局面を研究対象は、右利きプレイヤー175シーンと左利きプレイヤー142シーン、合計317シーンであった。

分析項目は、ボール保持前①位置取り②位置取りの高さ③スピード④ディフェンスとの位置関係⑤牽制の有無⑥動き方のパターン、ボール保持時局面①位置取り②ディフェンスとの位置関係③ディフェンスの高さ④間合い⑤フェイントの種類⑥突破方向⑦ドリブル⑧歩数、結果局面①プレー結果である。

統計処理には $\chi^2$ 検定と残差分析を用いた。

### 【結果と考察】

本研究の結果、以下の3点が明らかになった。

(1) 右利きにおけるボール保持時の位置関係とプレー結果との間に有意な関係が認められた。ディフェンスが非利き手側に位置している場合、そのまま利き手側に突破しやすく、サイドディフェンスを引き付けることができればアシストパスにもつながる。また、ディフェンスが利き手側に位置取ろうとする動きに対しては瞬時にインに切り返してシュートまたはアシストパスができる。そのため、ディフェンスが利き手側にずれた場合、有効なプレーになると考えられる(表1)。

表1 ボール保持時の位置関係(右利き)

	利き手側にずれ	非利き手側にずれ	正面
有効	15(57.7%)	49(66.2%)#	33(44.0%)*
有効ではない	11(42.3%)	25(33.8%)*	42(56.0%)#
合計	26(100%)	74(100%)	75(100%)

カイ2乗値=7.51 p<0.05

(2) 左利きにおけるボール保持前の位置取りとプ

レー結果との間に有意な関係が認められた。ディフェンスは一般に左利きのシュートが発揮されるインを厚く守ろうとする。そのため、オフェンスがボール保持前にアウトに位置取った場合、ディフェンスの視野に入りづらく位置を把握されにくい。また、アウトに位置取ることによってディフェンスの移動距離が大きくなる。そのため、ディフェンスよりも先に優位な状況を作ることができ、アウトの位置取りは有効なプレーになると考えられる(表2)。

表2 ボール保持前の位置取り(左利き)

	アウト	真ん中	イン
有効	5(83.3%)#	39(82.2%)	5(32.3%)
有効ではない	1(16.7%)*	82(67.8%)	10(66.7%)
合計	6(100%)	121(100%)	15(100%)

カイ2乗値=6.61 p<0.05

(3) 右バックポジションにおいて右利きと左利きを比較すると、右バックポジション右利きがプレーした場合、ボール保持時にディフェンスが非利き手側に位置したとき、すなわちアウトに位置したときでは有効なプレーになりやすい。一方、左利きがプレーした場合、ボール保持前に位置取りがアウトのとき、有効なプレーになりやすい。このことから、ここではボール保持前とボール保持時という違いはあるが、右バックポジションにおいて、右利きにおいても左利きにおいてもアウトに位置することが重要であると考えられる。

表3 右バックポジションにおける右利きと左利きの比較

	右バックポジション右利き	右バックポジション左利き
ボール保持前	直線的な動き方でボールをもらうと有効なプレーになりやすい。	位置取りがアウトに位置した場合、有効なプレーになりやすい。
ボール保持時	ディフェンスとの位置関係が非利き手側に位置した場合、有効なプレーになりやすい。	

### 【現場への提言】

(1) 右バックコートポジションにおいて、右利きは保持時、左利きはボール保持前にアウトに位置取りをする意識を心がける。

(2) 右バックコートポジションにおいて、右利きはフェイントをかける前に、ディフェンスが予測しづらく、大きく揺さぶることができるノーボールの動き、すなわちカーブやアーチなどの動きを習得し、フェイントの間合いが中間の状態プレーできるようにする。